

キャラクター名 クオーレ = ダルマータ	プレイヤー名
-------------------------	--------

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	神官	性別	女	年齢	29歳
冒険者Lv	6	経歴	大きな勘違いをしている		
経験点	1500		蛮族と間違われたことがある 魔物に襲われたことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
技	5	器用度	7	3		15 + 3	3	シューター	6		
		敏捷度	7			12	2	プリースト/エセルフィン	4		
体	6	筋力	6	2		14	2	マジテック	6		
		生命力	9	6		21	3	セージ	5		
心	10	知力	11	2		23 + 1	4	エンハンサー	1		
		精神力	8	5		23	3	アルケミスト	1		

[illegible][illegible][illegible]

名誉アイテム	点数
武具専用装飾品*2	200
幸運	
イレブン便利グッズ	
エセルフィン神殿	
アリダの恩寵	120
青魔法*12	
成長武具関連一括	
名誉点 所持 130 /合計	450

技能	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	6	9	8	8

[illegible]

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
弾丸x50	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
保存食（1週間分）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
緑Aカードx25	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3点魔晶石x25	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 <sub>m</sub>	14 <sub>m</sub>	42 <sub>m</sub>	2d+ 0	6	41

  

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 9	2d+ 0	2d+ 9	2d+ 9	51

装備品		説明
頭		
耳	浄化の聖印（エセルフィン）	どの陣であっても水陸や地形が異なることによる誤射や命中早や遅への気づけ（作り、敵の属性が異なるのであれば属性は必ず変更です。
顔	フローティングスフィア(大)	自動回復化
首		
背中		
右手	イレブン式宗匠の腕輪改一	
腰	ブラックベルト	
足		
その他バレットポーチ		《弾丸》類を24本収納。

— その他メモ —

クオーレ = ダルマータは貴族である。シェナクラス地方の代々ライフォスを世襲する家系に属することによって、貴族階級に属する。クオーレは、貧乏人共にここにきこきに情にも時間金もかけないという教条であり、それにいつのしかるが属く。そして信仰を広めるべく旅立つことを決意する。しかし、彼女は世間知らずなお嬢様。戦える術も当然知らない。どれも習得が法をという大義を掲げた魔動技術ならばどうか？適正があったのか、さほど苦しくなくという思いを胸に御身に導かれるまま放浪の旅へ出た。十分美人の部で個性を感じさせない為、ヘルメットを被ることにしていたのだ。そこに金属何かと勘違いしているものも無理はない。その子供達を本物の蛮族から守る為、傭兵団の団員であることを知る。そしてこちら影響力が高いとイレブン上記の二人もヘルメットを被っているのではエルフィン信者の同志だと思って顔見知りになり魔動機の1つを随伴させている

	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
スプリントアーマー		15		5
習熟/回避行動 etc)				
	合計値		0	6

		○□□○□□
		○□□○□□
		○□□○□□
		○□□○□□
		○□□○□□
所持金	13690	G
		G

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	4	8			
魔動機術	6	10			

装備品		説明
左手	知性の指輪	

	自動失敗 チェック
仰する名家に生まれた。しかしそこは名を重んじ、下らない疑問を抱き続けていた為に感銘を受けた鉄鉋神工セルフィン	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
難であったからだ。だが、ならば前時代に反映した大衆に魔	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
することはなかった。この魔法が再び全人族に渡れば格差も	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
もののだが、彼女自身顔で判断する者は嫌いであったし、そ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
も加われば、あまりの迫力に出くわした子供が彼女を蛮族や	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
戦っていたところ、カークとジェリスタが援護に入ってイレ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙
兵団に入団する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉛
る。最近は無動機を復旧仲間としてユーレリア地方のアリダ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉞